



善意がいっぱい

～紙製募金箱開封式～

11月10日、町内全戸に配布されていた紙製募金箱が回収され、ふれあいプラザ21で開封式が行われました。募金箱は1,384箱集まり、山のように積まれた募金箱を関係者総出で集計した結果、昨年を上回る金額が集まりました。なお、集まった善意は、全額共同募金会に贈られました。



やぎさんがんばれー

～第24回蘭越おやこ劇場～

11月11日、第24回蘭越おやこ劇場が町民センターで開催されました。人形劇団「ばおぼぶ」による人形劇「三びきのやぎのがらがらどん」が始まると、集まった大勢の子どもたちは、真剣なまなざしで物語の世界に引き込まれ、やぎがトロールをやっつける場面では、まるで自分たちのことのように「がんばれー」と大きな声が響きわたりました。



みんな一緒に歌おう♪

～子育て支援センター「親子で音楽会」～

11月13日、子育て支援センターで「親子の音楽会」が行われました。お子さんの大好きなアニメソングやお母さんからのリクエストに応えた曲をピアノとフルートで生演奏しました。また、「おもちゃのチャチャチャ」をピアノの伴奏に合わせてみんなで歌ったりと、楽しいひと時を過ごしました。



いつまでも健康に過ごすには

～町民健康づくり講演会～

11月16日、町民センターで町民健康づくり講演会が開催されました。昆布温泉病院理事長の川上雅人先生をお招きして、「健康寿命について」と題して講演いただき、いつまでも健康で元気に過ごすためには、どのような点を改善すべきか、わかりやすく説明くださいました。

町長の出前講座



▲蘭越小学校5年生の教室



▲昆布小学校6年生の教室

町長が各小学校の教壇に立ち、児童たちへ「らんこしの歴史」を説明して、もっと町に興味をもってもらい、子どもが町について普段思っている疑問や意見などを聴く「町長の出前講座」が初めて開催されました。11月22日は、蘭越小学校5年生を対象に「らんこしの歴史」をスライドを使いながら町長自ら説明しました。

今年、「らんこし米」を使った新たなグルメ「蘭棒」(らんぼう)や、「らんこし米」を使った地酒「蘭越

ゆめ絆」や甘酒の新商品が発売されることから、改めて「らんこし米」についてを知ってもらいたくテーマに選びました。

24日には、昆布小学校に出向き、6年生の教室で実施しました。

また、出前講座の後、6年生が授業で昆布を元気にするためにどんなことができるか児童たちが考え、まとめた「昆布活性化プロジェクト」を金町長と首藤教育長の前で発表しました。



▲昆布小学校6年生の「昆布活性化プロジェクト」発表